

## 瀬戸大橋を巡って

5月3日センチネル2が瀬戸大橋付近を観測しました。好天でした。この観測データを例に、衛星データ活用の事例をお伝えします。

糸口は巨大船です。YACかわら版246の説明のようにセンチネル2の空間分解能は10mです。分析の対象として、巨大船はほどよい大きさです。

また、大きな船舶は位置情報等を発信するAIS(船舶自動識別装置)を積んでいて、マリントラフィックというウェブサイトで位置を誰でも確認できます。

<https://www.marinetraffic.com/en/ais/home/> →ア

また、衛星データの観測時刻は極め厳密にコントロールされています。このデータには観測時刻が「2022-05-03 01:57:42 UTC」と記されています。日本標準時では10時57分42秒です。 →イ

Cの島にはKBN瀬戸大橋橋脚上ライブカメラが設置されてます。

<https://youtu.be/k3h7Rtkha-s> →ウ

## 1 「A」の巨大船 アイウをつかって

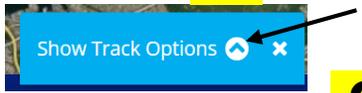
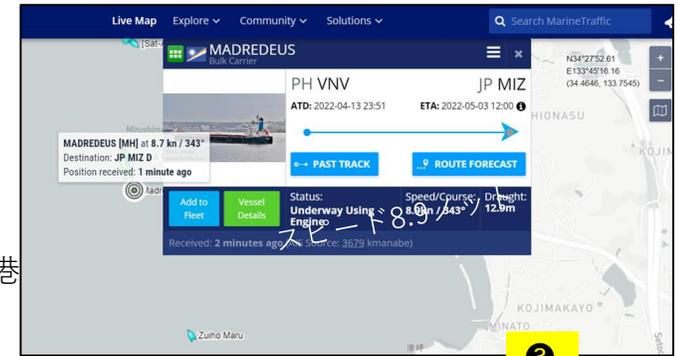
①画像の位置情報を読み取る



フィリピンのビジャヌエバ港を4月13日に出発して倉敷の水島港に向かう約10万トンの「マドレデウス」239.99×38mだとわかります。鉄鉱石を運んでいます。

②-2 <時間的なゆとりがない場合>

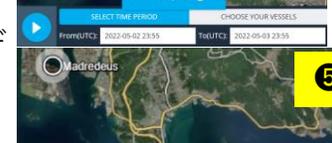
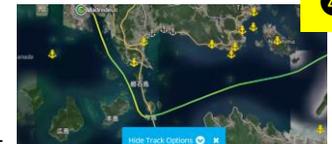
②-1 <時間的なゆとりがある場合>  
衛星観測予定時刻の船舶位置を調べる  
\*観測時刻は、前回の観測とほぼ同じなので船舶位置情報を読み取ることができます



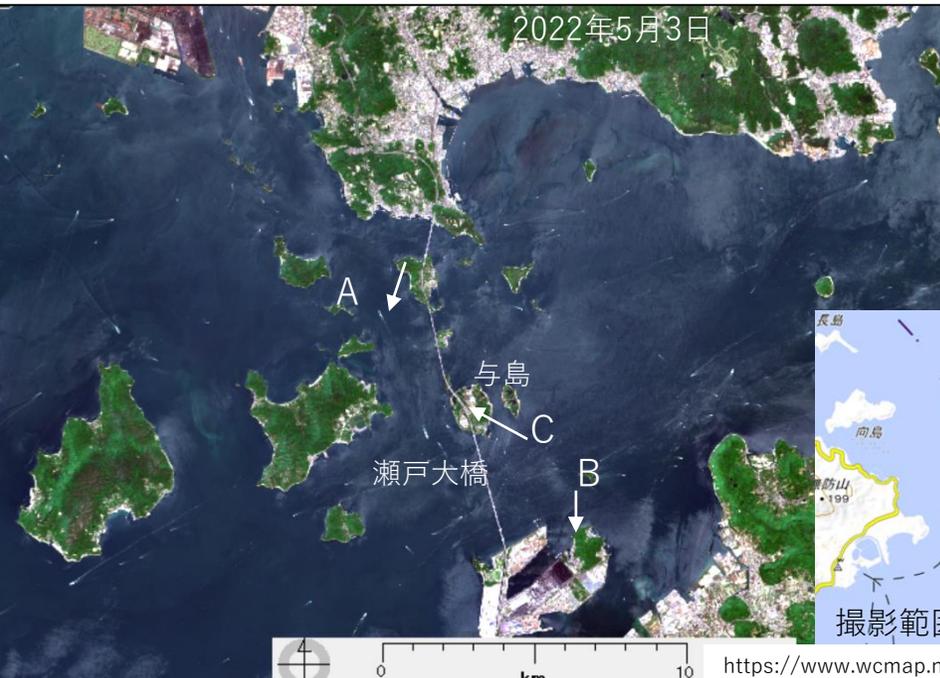
1日以内の航跡を調べることができます。

水島港に3日の午前に入港した船舶で貨物船で、製鉄所に接舷していて船を全てチェックすると「マドレデウス」が見つかります。

更に、KBN瀬戸大橋ライブカメラYouTube画像は、過去12時間分を確認できます。



3つの情報を組み合わせてみました。みなさんもチャレンジしませんか。



表示を衛星モードにすると過去の衛星画像が表示されます

KBN瀬戸大橋ライブカメラ南向きでYACかわら版51「瀬戸大橋直下のTOSA」を取上げています。今回は北向き画像です。大型船の通過は多いです。



## 2 「B」の巨大船 アをつかって

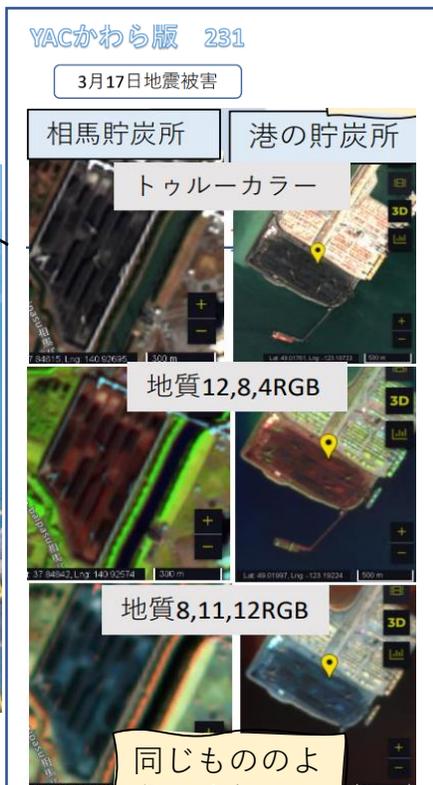
瀬戸大橋の規模におどろきながら岡山からの列車や自動車が与島を通過する頃、坂出市番の州の工業地帯に目が向きます。造船所・火力発電所・コンビナート群に目をうばわれます。

「YACかわら版231」の石炭は相馬共同火力発電新地発電所で使用するものでした。「ダービー」が坂出に運んできた石炭は違う用途のようです。

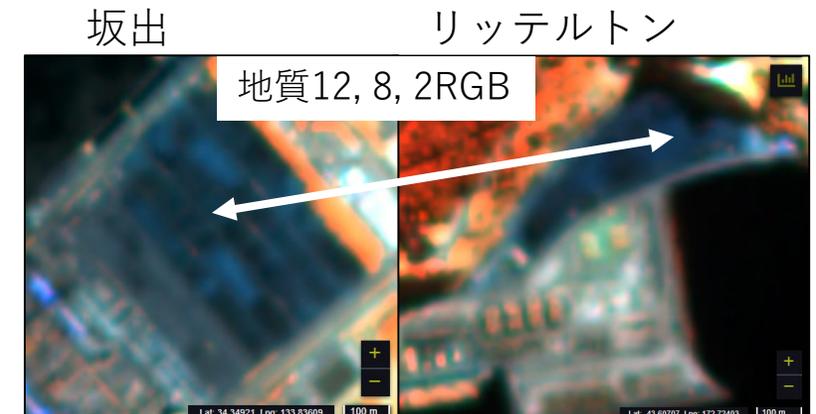
石炭の積出港と積みおろし港の確認をしましょう。



©三菱ケミカルKK香川事業所 四国電力  
[https://www.m-chemical.co.jp/csr/pdf/rc\\_report\\_mcc\\_08.pdf](https://www.m-chemical.co.jp/csr/pdf/rc_report_mcc_08.pdf)



同じもののようですね



## 「B」の巨大船

船名ダービー  
2022-04-05  
ニュージーランド  
リッテルトン出航

2022-05-02  
坂出港着  
約8万トン  
229m × 32.24m



バラ積み船の積荷を追ってみることも知的な興味がわきますね。

